

月刊『致知』(2017年11月号)の「創業の原点」に  
弊社代表取締役会長、藤間秋男が掲載されました。



## 創業の原点

vol.103

### — 祖父の願いを引き継いで会計士に

曾祖父の時代、明治二十三年に裁判所の前で字が書けない人に代わって登記書類を書く代書屋(現在の司法書士)を始めたのが当社の原点です。それを受け継いだ祖父は、書類作成にタイプライターを導入。これが評判になって当時の財閥系企業の大半から代書依頼が来るほど繁盛しました。二人とも世の中の流れをいち早く読むことに長けていたようです。

祖父は私の父を会計士か弁護士にしたかったようですが、戦争もあり、叶いませんでした。その願いを引き継いだのが私です。父に「お前のおじいさんの時代からの夢である会計士になれ」と言われて勉強を始め、大学卒業翌年に公認会計士に合格。その後、監査法人勤務を経て、三十歳の時に、

# 日本一多くの 百年企業を 創り続ける

「サルティングファームになります」というビジョンを掲げています。これに則って現在最も力を入れているのが事業承継です。事業承継をテーマとした講演実績は千五百回、相談実績は二千回を数え、いずれも日本一と自負しています。

最近の商工会議所のアンケートによると、後継者がいないという経営者は六十六%に上ります。中小企業経営者の年齢のピークは、過去二十年で四十七歳から六十六歳へと上昇しています。自分の代だけでよければ、本人ができるところまでやればいいのですが、百年企業を創るには、経営者が元気づけらるうちに社長の座を譲り、後継者を育ててはいけません。

「自らがお客様の見本にならうと、私は五十五歳の時に「六十五歳で会長になる」と宣言しました。当時、明確な後継者は決まっていまらなかったが、この十年間で素晴らしい後継

藤間公認会計士税理士事務所を立ち上げました。

会社は三十人規模になるまでは順調に伸びましたが、そこから十年停滞しました。その時に松下幸之助さんの「経営成功要因の三原則」と出会い、経営の成功には経営理念の確立と浸透、社員の個性を最大限に発揮できる環境づくりが必要だと知りました。私は「明るく・楽しく・元気に・前向き」本物の一流専門家集団として社員・家族とお客様と共に成長・発展し、共に幸せになり、共に地球に貢献します」という経営理念を掲げ、社員への浸透を徹底的に図りました。その結果、会社は大きく成長することができました。

### 百年企業を創るために事業承継をサポートする

当社は「日本一多くの百年企業を創り続け、千年続くコン

TOMA  
コンサルタンツ  
グループ株式会社

代表取締役会長  
藤間秋男



者を得て今年十月、市原和洋にバトンタッチしました。

カレーハウスCoCo壱番屋創業者の宗次徳二さんは「経営者として一番の幸せは何か」と尋ねられ、「安心して経営を任せられるよい後継者に恵まれたことです」と躊躇なく答えられました。まさにいまそれを私は実感しています。

後継者づくりは決して一朝一夕にはできません。経営理念を確立、浸透させると共に、社員がイキイキと働ける環境をつくり、社員を信じて任せていく経営トップの姿勢が不可欠です。

数多くの事例から当社が培ってきた事業承継の原理原則を経営者に伝え、日本一多くの百年企業を創り続ける。今後もその使命に邁進してまいりますことを確信しています。

取材・執筆／致知編集部